

プラグテック

窓・ドア用安定したフレームコーナージョイント



フレームコーナージョイント生産でダボを使うと、総じて非常に時間が掛かります。ホゾ結合にするとCNCマシニングセンターで、より多くの大きな工具が必要になります。

ライツのプラグテックは従来のコーナージョイントの利点を1つのシステムに組み合わせています。ダボ穴・ダボの不要なCNC機での生産により、効率的で費用効果が高く、柔軟な施工を実現します。最大耐破壊強度180kgクラスの承認を得たプラグテックは、窓メーカー、建築家、建物所有者にとって理想的なソリューションです。

メリット

- 優れた安定性と正確な嵌め合い
- 生産工程全体の時間を短縮
- 追加の接合要素が不要
- 多様なプロファイルシステム、フレーム幅に対応する柔軟な施工

特長

- 正確で形状がぴったりフィットするフレームコーナージョイント
- ほぼすべての窓・ドアシステムに適用可能
- 一般的なCNC機すべてに対応
- 調整・実証済み生産コンセプト



180 kg

サッシ最大耐破壊強度
テスト済み

100%

正確で形状がぴったりフィット
するジョイン

導入によるメリット ...



品質

抜群の安定性

- ドイツの有名なIFTローゼンハイム研究所での製品テストで木材厚78 mmのサッシ最大耐破壊強度が180 kgであることが認証されています。
- 材の木口から切り出した楕円ほぞによる正確で形状がぴったりフィットするコーナージョイント
- カウンタープロファイル/ダボ接合、ほぞ接合など従来のコーナージョイントより大幅に高い耐破壊強度
- 特に薄いフレーム幅の加工にも最適なソリューション



効率性

製造時間の節約

- 機械に加工材を1回クランプするだけの費用対効果の高い製造を実現
- 追加の接合要素が不要なため歩留まりが向上
- 製造工程全体の短縮による時間の節約
- 接着工程でのネジ締結によりフレームプレスを省略(オプション)



柔軟性

多様な施工性

- ほぼすべての窓・ドアシステムに適用可能
- 近年主流のCNC機に適した軽量刃物で加工が可能

プラグテック：
安定性と効率的な
生産性を両立。



www.leitz.org

